

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：中川 裕美子 作成日：2025年1月6日

1. 教育の責任

「専門知識と高度な技術を習得し、歯・口腔の健康を通じ社会に貢献できる人材育成が可能な教育課程の編成」という本学科のカリキュラム・ポリシーを踏まえ、臨床知識と実践力や患者中心の医療を提供する姿勢を育むことを目指している。

2. 教育の理念

「実社会に則した豊かな教養に基づく実務教育を通じて、学生一人ひとりが自らの目的を見つけ、その目的に向けての目標を定めそれを実現させる力を育成する」という本学の理念に基づき、豊かな教養ある人格の完成を目指すと共に、育成した実際生活に必要な能力をもって社会の発展に貢献し得る人材を教育すること、専門の学芸を教授研究することを目的とする。

3. 教育の方法

歯科診療補助Ⅰ：歯科で用いられる歯科器材の名称と用途を学び、歯科診療補助に必要な基礎知識を得ることを目的とする。

歯科診療補助Ⅱ：診療の流れや薬剤を学び、歯科診療補助に必要な技術をマネキン実習で習得することを目的とする。

歯科診療補助Ⅲ：診療の手順を理解すること、患者に配慮した歯科診療補助を相互実習で習得することを目的とする。

科目が進むに従い、個人の手技から患者を対象とした実践力を習得することを目指す。知識習得においては材料・機器や術式について小テストを行い、解答を誤った問題に関して解答解説を課題とすることで知識の習得を目指す。実技習得においては実技チェックを行い、合格点に満たない場合は補講によって実技の習得を目指す。

臨地臨床実習：歯科医療現場において歯科衛生学を主体とした保健医療に関する専門的な知識と高度な技術を身に付けるとともに、医療現場でその実践力を十二分に発揮できる歯科衛生士を育成することを目的とする。臨床実習前教育を行い、必要な知識の習得を目指す。実習中においては巡回や登校日などで指導を行う。

医学概論：優れた医療事務者・医師事務作業補助者を目指して知識を習得することを目的とする。

体のしくみについて教科書、配布資料を用いてわかりやすく説明し、小テストで理解度を確認する。

4. 教育の成果

授業アンケートでは授業資料がわかりやすい、小テストで理解度を確認できることなど概ね高い評価を得ることが出来た。引き続きわかりやすい実習指導に取り組んでいきたい。臨地臨床実習においては、実習指導者から学生の積極的な姿勢を評価された。

5. 改善への努力と今後の目標

臨床現場に即した実習を心がけ、臨地臨床実習における課題を実習先と連携して明確にし、シラバスに反映していく。

手技を学ぶ科目でもあるので、現在も動画を作成しているが更に増やしていきたい。

【添付資料】

シラバス検索：<https://sb.otemae.ac.jp/syllabus/SyllabusSearch.aspx>

歯科診療補助Ⅰシラバス

歯科診療補助Ⅱシラバス

歯科診療補助Ⅲシラバス

医学概論シラバス